

TSIが「聖域なき構造改革」に着手 東京スタイルの事業再編に大ナタ

TSIホールディングスは、傘下の東京スタイルを中心としたコスト構造改革に大ナタを振るう。今年上期（3～8月）をもって東京スタイルの「プリドール」「ビスティ」「マイドル」の3ブランドを廃止し、「ケイタマルヤマ トウキョウ パリス」のライセンス生産・販売を終了（同ブランドはテトラスターが販売を継続する）した。下期（9～2月）にも1ブランドを廃止する予定。ブランド整理に伴い、東京スタイルでは上期で297店を

退店し、下期でも60店前後を退店する見通しだ。店舗閉鎖、規模縮小に伴う人員削減、広告宣伝費のカットなど一連のリストラ策によって今期の販売管理費を13億円減らす。TSIにとって東京スタイルの赤字解消が喫緊の課題となっており、三宅正彦・会長兼社長は「聖域なき構造改革を断行し、黒字化に向けて着実に手を打つ」と強い決意で臨む。連結営業赤字を前期の69億円から今期は5億円に減らし、「来期はグループとしての黒字化（営業損益）を約束する」。

東京スタイルは主力事業である百貨店の婦人服販売が低迷し、TSIの収益悪化の主因になっていた。上期の営業損益でもサンエー・インターナショナルが6億円ながら利益を出しているのに対し、東京スタイル単体で32億8100万円の損失を計上。東京スタイルがM&Aで子会社したナノ・ユニバース、アルページュ、ローズバッドなどが順調に利益を稼ぐ中、本体が足を引っ張る結果になっている。東京スタイルでは「ヴァンドゥー・



左：基礎工事が進む新ビル「東京スタイル青山計画」は当初発表とは異なり1～2階に他社テナントを入れる 右：TSIの三宅正彦・会長兼社長

オクトーブル」「アリスバリー」「スタイルミー」など百貨店における主力ブランド、TSI傘下では最大の売上高を誇る「ナノ・ユニバース」など成長力のあるブランドに経営資源を集中する。上期売上高が約4割増の82億円になったナノ・ユニバースは、下期も11店出店し、通期で計61店にする。組織や生産・物流体制の見直しも進める。東京スタイルは分野別の4事業部体制を下期から2事業部体制に移行させた。また縫製工場の東京スタイルソーイング宇都宮を解散

し、国内工場を3工場に集約した。

不動産の売却や運営の見直しにも着手する。東京スタイルが自社物件として保有していた札幌、大阪、福岡の各支店を売却し、新宿支店はビル解体して跡地利用を検討する。また、南青山5丁目に建設中のビル「東京スタイル青山計画」の運営方針を見直す。同ビルは表参道交差点近くの御幸通り沿いに東京スタイルが2000年取得した土地に、地上6階・地下1階のビルを来年10月の完成を目指して開発されている。建設計画を推進した当時の中島芳樹・社長は「TSIホールディングスの統合のシンボル」と意気込み、1～2階にTSIが展開する複数ブランドの店舗を出店する計画だった。だがこの計画を撤回し、自社以外のテナントを誘致する。上層部のオフィス向けフロアもTSIの企業を入居するか白紙にして検討する。

2013年2月期のTSIコスト削減策

低収益・不採算店の退店
・上期で東京スタイル内の297店舗を閉鎖
・下期も60店前後の閉鎖を計画
不採算事業からの撤退
・上期で東京スタイルの「ケイタマルヤマ トウキョウ パリス」の販売終了。「マイドル」「ビスティ」「プリドール」を廃止
・下期も東京スタイルの1ブランドを廃止予定
売上総利益率の改善
・東京スタイルの事業体制を4事業部制から2事業部制へ移行
・東京スタイルの企画・生産体制の見直し
その他
・縫製孫会社の東京スタイルソーイング宇都宮の解散
・東京スタイルの支店の廃止
・建設中の「東京スタイル青山計画」の運営見直し

東スタとサンエーの2012年上期の業績比較

東京スタイル			サンエー・インターナショナル	
	単体	買収企業を含む合計		
売上高	12,298(▲5.1)	39,254(40.0)	51,312(5.3)	
売上総利益率	37.3% (+5.0pt)	49.2% (+4.8pt)	52.6% (+1.3pt)	
販管費率	65.9% (+2.9pt)	53.0% (▲3.3pt)	51.4% (±0pt)	
営業利益	▲3,527(—)	▲1,505(—)	628 (—)	
純利益	▲3,281(—)	▲2,804(—)	534 (—)	

単位＝百万円、カッコ内は前年同期の伸び率、▲は損失またはマイナス

Editor's Check

東京スタイルの不採算事業のみならず、所有する不動産や投資有価証券の売却にまで踏み込み、手元資金の確保に充てる。東スタにとっては文字通り身を切る改革だ。昨年6月に経営統合を果たしたが、生産・物流が経理・人事など実際のプラットフォーム作りは緒についたばかりで課題は山積している。統合の相乗効果が表れるのはまだ先になりそうだ。